

令和5年度 学校運営協議会（第1回）議事録

- 1 日 時 令和5年6月23日（金） 14:15～15:25
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 参加者 協議会委員：地域住民、学識経験者等5名
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、生徒指導主事、

4 内 容

- (1) 自己紹介
- (2) 委員長選出
- (3) 委員長挨拶
- (4) 校長挨拶

・この4月に校長として着任した。初任校がこの学校であった。教員も前向きに生徒たちに関わってくれていることから、生徒が落ち着いて集中して授業を受けていると考えている。授業アンケートの結果を見ると、平均値が非常に高く、生徒の満足度の高さが窺える。

しかし、ここ数年間定員割れが続いており、3年後に大塚高校に統合することが決まっている。このようにすばらしい学習環境を提供できる学校が、閉校になるのは誠に残念であると感じている。このような中ではあるが、本日はスクールミッション、学校経営計画、学校教育計画等について色々と忌憚のないご意見をいただき、より一層子どもたちのために励んでいきたい。

- (5) 授業見学
- (6) 議 事

◆ スクールミッションについて

- ・昨年度、本協議会においてご審議いただいた本校のスクールミッション案を府教委に提出した。その設置者案が示されたので改めてご提示する。内容的に変更はない。

「創立以来掲げる「六綱領」（自主・自律、堅忍・果敢、創造・開発）のもと、主体的に考え学び、未来を切り拓く力を身につけた、社会人として自立し、地域社会に貢献できる人物を育成する。」

⇒ スクールミッション案は学校運営協議会により承認。

◆ 令和5年度学校経営計画について

- ・昨年度末にご提示したものに、何点か変更を加えている。

- ① 生徒一人あたりの平均遅刻回数評価指標、1.2回以内⇒1.7回以内（令和4年度実績は1.9回）
⇒ 昨今の生徒の状況等を考慮し、学校になかなか来られない生徒に対して多様な指導ができるようにするため。
- ② 「管理職からの連絡や、資料提供にメール配信等を活用する。」（等を追加）
⇒ 様々なツールを使って、もれなく情報提供を行うため。

- ・「主体的で対話的な深い学びへの取組み」及び「授業での ICT の積極的な活用を推進」するため、13 人の教員が先進校の授業を見学しに行った。そこで見聞きしたことを今後の授業に活かし、生徒たちにとって「分かりやすい学び」を進めていく。
- ・夏季休業中に教務部長が広島県で行われる教務研究会の研修会に参加した。広島で取り組まれている「新学習指導要領」に沿った様々な取組みについて、本校の校内研修で紹介してもらう。また、本校の中でも「主体的で対話的な深い学び」への取組みを実践している教員の授業を他の教員が見学する機会を設けていく。
- ・早いうちからしっかりと進路意識を持たせるため、「総合的な探究の時間」を使って、外部の人にインタビューをするなどして、自分なりに色々な課題について考えさせることをしたい。先日、美原区長に会った。今後、SDGs 等に取り組んでいる企業や組織があれば紹介していただくなど、地域と学校がより連携を深めることで、これから社会に出る子どもたちのためにより良い取組みができるよう進んでいきたい。
- ・毎週水曜日に生徒支援委員会を開き、各学年より支援を要する生徒について状況報告とともに情報共有を行っている。課題のある場合は、その解決に向けて支援策を検討している。
- ・校務の効率化、働き方改革の推進に積極的に取り組んでいく。今秋に導入される採点ソフトや、1人1台端末を使った小テストのソフトなどの活用を進め、超過勤務を縮減するとともに子どもたちに向き合う時間を増やせるようにする。今年の4・5月の時間外労働時間の平均は昨年度の年間平均を下回っている。

◆ 令和5年度学校教育計画について

<学習活動について>

- ・ホームルーム担任と教科担任の連携を密にするため、週1回行われている学年団会議で生徒情報の共有を行っている。また、6月と11月の保護者懇談の前には、授業の担当者が各生徒についての情報（授業中の様子など）を所定のフォームに入力し、担任が活用できるようにしている。
- ・少人数展開の授業は、1年生の数学、英語、2年生の国語、数学、3年生の国語、英語で実施している。1年生の情報では、ティームティーチングを行っている。
- ・今年度は、大学生のボランティアが1年生の授業に入り、生徒のサポートをしてもらっている。
- ・ほとんどの教科で学校設定科目を設定し、生徒の興味・ニーズに応えられるようにしている。
- ・教員の授業力の向上のため、年2回実施する授業アンケートの結果をもとに授業改善に努めるとともに、11月を授業見学月間と位置付けて、教員相互の授業見学を促している。

<部活動について>

- ・部加入率がなかなか上がらない。これからは教員も減るので、顧問の確保が一番の課題になってくる。教員の負担を増やすことなく生徒の要望にどう応えていくのかということ今年しっかりと議論して来年につなげていく。

<生活指導について>

- ・昨年度は、運転免許の申請制の廃止、ツーブロックの髪型の解禁などの変更を行った。今年度は、規則の変更は行っていない。
- ・遅刻に関しては、生徒数の減少に伴い総数は減っているが、1人当たりの遅刻件数は増えている。体調不良での遅刻、登校が困難な生徒、起立性調節障害等で朝から登校できない生徒なども増えている。月2回遅刻すると月末に特別指導を行うが、個別に理由を聞きながら改善に向けた指導を

している。

- ・ 昨今、人間関係のトラブルからの懲戒や指導が非常に増えている。相手との距離感をうまく取れないこと等が要因と考えられるケースが多い。今後、外部機関との連携のもと指導法等について、アドバイスをもらうなど手立てを考えていかなければならない。
- ・ 懲戒指導の件数は増加傾向にある。友だちがやっているからという理由で何も考えずに行動し、1度に複数人が指導を受けるということが、昨年から顕著に見られる。友人関係のあり方や、自らの行動について深く考えるという点で課題がある。
- ・ 学校評価アンケートにおける本校の生活指導に対する肯定的回答は 90%を超えている。教員が減少していく中で、節目節目で行っている「生活習慣確立週間」やその他の各種指導について、来年度以降も維持できるかどうかは課題である。

<進路指導について>

- ・ 「1年生：自己理解」、「2年生：目標設定」、「3年生：自己実現」をキーワードとして、3年間を見通したプログラムのもと、人生観・職業観も育てていけるよう系統的・継続的な取組みを行っている。
- ・ 近年は、障がい等配慮を要する生徒の進路保障のため、2年次から職場体験に行かせるなどの取組みを行っている。
- ・ 3月に卒業した45期生の進路結果は、進学者が63.1%、就職者が28.6%であった。進学については、推薦入試での受験が中心であるが、難関校と呼ばれる大学へチャレンジする生徒もおり、関西大学に合格した生徒もいた。

※ 進学者の内訳

4年生大学：17%で前年度より増加している。

短期大学：4.8%で前年度より少し減少している。

幼児教育系学科：志望者は多かった。

専門学校・各種専修学校：40.5%で前年度より少し減少。

文化・教養及び衛生分野：進学者が増えた。

⇒ 衛生分野への進学者が増えたのは、調理・栄養系の専門学校への志望者が多かったため。

- ・ 就職については、学校紹介就職の一次内定率が91.7%。90%を超えたのは41期生以来で、近隣の学校と比べても高い数値となっている。

◆ 令和5年度授業アンケートについて

- ・ 今年度は1回目を5月26日に実施し、2回目を10月半ばに実施を予定している。実施対象は全生徒で、質問項目は、比較のため一昨年、昨年と同じにしている。結果の詳細は第2回学校運営協議会で報告する。

□ 協議委員からの意見

- ・ 先生方の人数が少なくなっていくという問題が非常に大きい。生徒たちが卒業するまで、その点をどうフォローするのか。
⇒ 現在、教員の加配が6名ついている。来年度の加配についても配慮してもらえよう、府教委にお願いしている状況。3年後に閉校になる学校が本校を含めて3校あるが、その中で本校はクラス数が一番少ないので、教員数の減少に非常に危機感を持っている。校内では「将来構想委員会」

で、今後の分掌の業務や生徒との関わり方などについて検討している。校長としては、引き続き府教委に状況を伝え、極力人数が減らないよう要望していく。

- ・ 先ほど久しぶりに授業を参観させていただいた。クラス数は少なくなったが、今まで見た中で一番生徒たちがまじめに授業を受けていた。アンケート等の評価も高くいい方向に行っている中で、学校が縮小していくのは非常にもったいないという気持ちがある。

家庭環境等が厳しい生徒もいると思うが、生徒にとっては人生の中で非常に大事な3年間であるので、しっかりとフォローをしてやってほしい。

- ・ 今後も、教員が減らないよう教育委員会に働きかけてほしい。これから生徒数が減少して、子どもたちの体育大会や文化祭などへのモチベーションが下がることを危惧する。学校に対する意欲が減るといったようなことがないようにしてほしい。
- ・ 生徒たちはとてもまじめに授業を受けており、授業アンケートの評価が非常に高いのも納得できる。先生方がしっかり生徒たちに向き合っているということが実感できる。最初の挨拶で、校長先生がこのすばらしい教育環境がなくなるのは寂しいと言っていたが、私も同感である。残りの3年間、生徒たちのために何ができるのかということをもみんなで考えてもらって、充実した学校生活を送らせてやってほしい。我々もできることがあれば協力したい。
- ・ 今回も授業を見せていただいて、授業態度が非常に前向きであることに感銘を受けた。教員数が減っていく中で、学校行事をどのように工夫して活気あるものにしていくのかということについて、お考えを聞かせてほしい。

⇒ 具体的にどうするかはこれからの検討事項。本校より1年早く閉校になる学校や過去の改編校の事例を参考にしながら、何ができるのかをしっかりと検討していきたい。今日、この後、同時期に閉校となる3校で1番早く閉校準備委員会を開催する。子どもたちにしっかりとした教育をするとともに、美原高校での学校生活を一生の思い出としてもらえるような取り組みをしていきたい。まずは、生徒たちが少なくなる中、それでも「この学校が楽しい」、「この学校に来てよかった」と思って卒業していけるように取り組んでいくことが大切であると考えている。

◆閉会の挨拶（校長）

- ・ 本日はありがとうございました。頂戴いたしましたご意見・ご感想を踏まえ、まずは今いる生徒がしっかりと社会に出て行けるよう、また美原高校を卒業してよかったと心から思ってもらえるよう、教職員一同がんばってやっていきたいと思えます。委員の皆様方におかれましては、今後ともご支援をよろしく願いいたします。

※第2回は11月下旬を予定。